

2019年4月24日

Asia
Research
Center

Asia Talk

“プロ”に聞く！

「アジア選挙」の金融市場への影響

※当資料は「アジアリサーチセンター」のレポートを基に作成しています。

「タイ選挙の金融市場への影響は？」

プラユット首相が再任される可能性が高いとみる。時間の経過と共に、タイ金融市場で政治情勢に対する警戒感は弱まろう。

- タイでは総選挙（国会下院）が3月24日に開催され、**開票結果は5月9日までに発表される予定です。**
- タイ選挙管理委員会は3月28日に、非公式結果を発表しました。開票がすべて終わったとはいえ、集計結果への疑義などから一部で選挙のやり直しや再集計が行われることになり、開票結果が後ずれする可能性が浮上しています。開票結果が遅れると、首相選出まで予想外に時間がかかることから**政治の不透明感が当面、金融市場の重しになりそうです。**
- 親タクシン派のタイ貢献党が連立で過半数を目指す動きもありますが、親軍派の上院による反対が見込まれるため、首相選出は難しそうです。親軍派の国民国家力の党が反タクシン派の民主党などを取り込み、**上院の支持を背景にプラユット暫定首相が再任される可能性が高いと思われる。**
- タイではもともと多数政党による連立政権の経験が多く、国会対策という意味で政治の安定性が損なわれることに国会議員も官僚も慣れてしています。その意味で、**新政権が仮に国会下院で少数与党になるにしても、政策遂行能力についてはさほど懸念する必要はないと判断しています。**タイ金融市場では、当面不透明な政治情勢を嫌気する局面が続きそうですが、**時間の経過と共に金融市場で警戒感は弱まってくる**とみています。

図表で詳しく！

【タイ総選挙の非公式結果】

政党名	性質	合計（人）
タイ貢献党	親タクシン派	137
国民国家力の党	親軍派	116
新未来党	反軍派	80
民主党	反タクシン派	52
その他		115
合計		500

(注) 公式結果は5月9日までに公表予定ですが、後ずれの可能性があります。
選挙管理委員会が3月28日に公表した情報。

(出所) タイ選挙管理委員会の情報を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

「インドネシア選挙の金融市場への影響は？」

ジョコ現大統領の再任が確実になり、政治に関する懸念は大幅に後退。インドネシア金融市場は選挙結果をポジティブに評価しよう。

- インドネシアでは大統領選挙、総選挙（国会下院）が4月17日に行われました。**選挙管理委員会は公式結果を5月22日までに発表する予定です。**
- ジョコ現大統領と最大野党の党首、プラボウォ氏の一騎打ちとなった大統領選挙の出口調査では、ジョコ候補がプラボウォ候補に対して8～10%ポイントの差をつけて優勢となっており、**現職のジョコ氏の再選が確実になっています。**
- **国会下院では、最大与党の闘争民主党が20%程度の議席を獲得し、連立与党では引き続き過半数を維持する見込みです。**前回の総選挙では連立政権は少数予定で発足したことと比べると、**インドネシアの政治に関する懸念は大幅に後退した**と判断します。
- 2014年10月に誕生したジョコ政権は、外資規制緩和を進めてインフラ整備を拡大し、年5%前後の経済成長を実現しました。**第二期ジョコ政権では、インフラ整備を更に進展させることで、インドネシア経済を中長期的な発展軌道に乗せるとみています。**その象徴の一つが地下鉄です。首都ジャカルタでは10年以上の構想を経て今年3月24日に地下鉄が開業しました。ジャカルタの地下鉄は今後も新路線が計画されており、最悪レベルとされる渋滞の緩和につながれば、インドネシア経済にとってプラスとなります。
- **ジョコ大統領の再任、過半数の支持を受けた第二期ジョコ政権の誕生は、インドネシア金融市場でポジティブに評価されるとみられます。**

図表で詳しく！

【インドネシア大統領選挙 出口調査】

調査機関	ジョコ候補	プラボウォ候補
indikator	53.9%	46.1%
charta politika	54.3%	45.7%
politracking	55.0%	45.1%

(注) 2019年4月19日午前10:00時点。

(出所) 各種報道を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

「インド選挙の金融市場への影響は？」

世論調査では、モディ首相率いるインド人民党(BJP)による連立政権となる可能性が高まる。経済改革を推進するモディ首相再任なら、インド金融市場はポジティブに反応しよう。

- 5年に一度のインドの総選挙は、各選挙区で投票日が異なり、4月11日から5月19日の間に7つのグループに分けて実施されます。総選挙の投票は4月11日から始まっており、最終グループの投票が5月19日で、**開票は5月23日に全国一斉に行われる日程です。**
- **世論調査によれば、3月の総選挙日程の発表後、与党連合への支持率がわずかながら上昇する兆しがみられます。**2月1日にモディ政権が発表した政府予算案には農民や貧困層を支援する政策が強調されていたことに加え、2月下旬にパキスタンに対して武力行使を行ったことで政府が毅然とした態度をとった点が評価され、与党インド人民党(BJP)の支持率が高まった模様です。
- 2014年の前回選挙のように、与党BJPが国会下院で単独過半数を獲得する可能性は低いとみられますが、**BJPが連立政権により過半数を獲得する可能性は比較的高そうです。**
- インドの世論調査の精度には不確実性があり、選挙は楽観できません。ただし、**BJPが連立工作により、第2次モディ政権を発足できれば、金融市場はポジティブに反応するでしょう。**

図表で詳しく！

【インド総選挙日程】

	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6	グループ7
候補者届け締め切り	3月25日	3月26日	4月4日	4月9日	4月18日	4月23日	4月29日
候補者資格審査	3月26日	3月27日	4月5日	4月10日	4月20日	4月24日	4月30日
候補者確定	3月28日	3月29日	4月8日	4月12日	4月22日	4月26日	5月2日
投票日	4月11日	4月18日	4月23日	4月26日	5月6日	5月12日	5月19日
開票日	5月23日	5月23日	5月23日	5月23日	5月23日	5月23日	5月23日
対象議席数	91	97	115	71	51	59	59

(注) 国会下院の定数は545ですが、2名は大統領指名。上記議席数の合計は543。

(出所) インド選挙管理委員会の情報を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

- 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。